

280人がスポーツ交流

奄美市笠利町の大島北高校(新納雅樹校長)と瀬戸内町の古仁屋高校(佐久間健士校長)は2日、奄美市名瀬総合運動公園体育館でスポーツ対抗交流会「古北戦」を開いた。両校の1~3年生約280人が参加し、綱引きやバスケットボールなど4競技を実施。両校とも白熱した応援合戦を繰り広げ、大いに盛り上がった。



綱引きや部活動など学校一丸となって応援で盛り上がった古北戦、(右)大島北高、(下)古仁屋高。2日、奄美市名瀬総合運動公園体育館

古仁屋高 綱引き、バスケで「古北戦」 大島北高

他校と切磋琢磨し、古仁屋高1年の盛田生徒の団結力を高める貴至君(15)は「綱引きで行っている古北戦は今年で9回目。人数不足のため今回から、野球に代わりフットサルが加わった。男女学年別の綱引きでは、両陣営とも懸命に声を上げて仲間を応援。男女別バスケットボール部対抗戦や学年別の男子フットサル対抗戦を行い、交流を深めた。

古仁屋高1年の盛田貴至君(15)は「綱引きでは勝つことができ、相撲をやっている力になったのでうれし」と語った。大島北高3年で生徒会長の上原梨紗さん(17)は「体育委員や生徒会の準備のおかげでみんな楽しんで思っ出になった」と満足げな様子だった。



白熱の応援合戦も